

筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会

9条の会ニュース

NO. 21 2009. 3

名称：筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会

郵便振替口座番号：00120-4-501101

発行責任者：茅野徳治：TEL / FAX 029-857-6593

〒305-0023 つくば市上の室1829-1

一九条と軍事費

福本 貞義

昨年12月8日に茨城県平和委員会は、「ムダな軍事費は削れ」という意見広告を新聞（見たのは朝日）に出し、そこには防衛省（庁）に10年以上にわたり毎年約5兆円出されていると書かれておりました。ちなみにやはり新聞に掲載された平成21年度の予算案では、防衛省が微減の概略4兆8千億円となっていました。これに対して大学・研究所に関係の深い、文部科学省は5兆2千億円、農林水産省は2兆2千億円、そして経済産業省は1兆円でした。

ストックホルム国際平和研究所発表の、2007年の世界のトップ15の軍事費を比較しますと⁽¹⁾、イラク戦争のアメリカは予想通り突出していて、世界軍事費総額の45%を占める54.7兆円（1ドル=100円として換算）で、2位の英国の5.97兆円を大きく引き離していますが、中国、フランスについて日本も5位の4.36兆円で、その後ドイツ、ロシア、サウジアラビアが続きます。国家を経済外的な力で統治した昔とは異なり、現在の政治は主に予算配分によって行われています。憲法九条で戦力保持を禁じているわが国で、国際的にみても、我々の日常生活との関連でみても、防衛省予算はバランスを失って過大と思われま

す。一昨年の安倍内閣での参議院選挙で、改憲派が後退して大喜びしたのですが、これには九条の会の活動が寄与したのは間違いありません。改憲派は改憲の暁には、防衛省予算を国民の生活を守るために減額するどころか、一層の増額を図ることは間違いありません。

軍事費は他の予算に比べて特別な性格を持っています。国の安全を守るという名目では、何処まで行っても絶対安全とすることがあり

ませんから、上限がありません。そして軍事には必ず機密が付随しますので、都合の悪いことは軍事機密で隠すことが出来ます。これらはメーカーや商社にとって大変魅力的です。守屋武昌前防衛事務次官の事件もこれらと全く無関係とは言い切れないと思います。

人類は、昔は天災や飢餓に苦しめられたのですが、今はマルクスが「豊富の中の貧困」と指摘するように、支払い能力のある、所謂有効需要が減って物が売れず、経営不振や失業となるのです。そして雇用が緊急課題となっている現在、道路や橋などの公共投資には、これ以上は無駄と言う誰が見てもわかる限界がありますが、軍事費にはありません。ジャーナリズムでは、色々な意見が飛び交いますが、自然科学の理論とは違って、社会科学の理論は一見客観的で公正に見えても、結局はいずれかのグループの利益になるようになっています。軍需は有効需要を作り出す手っ取り早い方法ではありますが、軍備拡張の行き先は戦争で、これはわが国を含め、世界が苦い経験をしたところで、100年に1度とも言われる不況の今、九条が改めて一段と重要になりました。

なお軍事機密と云えば、相手より進んでいるハイテクの塊のように受け取られがちですが、戦時中に陸軍造兵廠で働いた経験では、かなりの部分は、知られたら恥ずかしい、都合の悪いものを隠すために使われていたような印象を受けたことを付記します。

(1) http://www.sipri.org/contents/milap/milex/mex_mayjor_spenders.pdf

第8回講演と対話の集いを開催します

－日本の宇宙開発と憲法9条の価値－

第8回のテーマは、別紙チラシのとおり基調報告として「日本の宇宙開発と憲法9条の価値」と題し、国立天文台の石附澄夫先生にお話いただきます。今回のテーマを設定しました主旨は、以下のとおりです。

昨年、私たちの生活を不断に襲った国際・国内の社会・経済的出来事の合間をかいぐって、自公民の提案になる「宇宙基本法」が、問題の大きさにもかかわらず議論も殆どなされずに、ひそやかに、5月に国会で成立しました。この法案は、宇宙空間の軍事利用に、大手を振って参画しようという意図の下に定められたもので、果てしなく軍拡を増大させ、「日米安保」軍事同盟のもと日本の進路を一層危うくするものです。他方で、地球環境を破壊し、地球を母とする生物の生存をも危うくするものといって過言ではありません。それは宇宙空間の「平和的」利用を願う全ての人々の意向に逆らうもので、問題を看

過することが出来ません。更に、宇宙研究の自主性・民主的運営および研究成果の公開の原則が損なわれる事態の招来であると考えられます。

「基本法」の制定に基づいて、実施諸法の制定が必要であり、今後に亘って私たちの監視と一層の確かな対応が求められています。今回の基調講演は、この問題について初期の段階から取り組み、全国的な運動を進めてこられた第一線の研究者、石附澄夫氏（国立天文台）に、日本の宇宙開発の現状と問題点及び軍事利用を許さないための運動あり方について話していただきます。問題の重要性から、直接宇宙開発関係に携わっておられる方々或いは関連の自然・社会・人文科学関係者のみならず、一般市民の方々の参加のもとで、宇宙開発について間違いの無いあり方を互いに議論し、確認し、今後の展望をさぐりたいと思います。

皆さま方のご参加をお待ちしております。

第80回

筑波研究学園都市圏統一メーデー

日時：5月1日（金）午前9時～午後3時
場所：中央公園

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立日本をめざそう！

主催：「つくば中央メーデー」実行委員会
問い合わせ先：TEL 029-861-7320

2009年憲法フェスティバル

日時：5月3日（日）午前10時開会
場所：水戸市千波公園はなみずき広場
「戦争体験を聞くコーナー」「平和と戦争展コーナー」「憲法トーク・うたごえ」等
主催：2009年憲法フェスティバル実行委員会
問い合わせ先：TEL 029-231-4555

09年3月31日現在

賛同者数 820名（0名）

（ ）内は前号以降の増加数

事務局だより

○本会では「筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会アピール」への賛同署名を広くお願いしています。

http://peace.arrow.jp/tsc/i_home.php
へアクセスしてください

○「会」へのお問い合わせは

・茅野徳治：電話・Fax：029-857-6593

・e-mail：

岡田安正 spc873x9@comet.ocn.ne.jp

堀田博之 zkodaly@cc.affrc.go.jp